

# SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行  
No.

# 40

発行日：2016年 1月15日(金)

地域企業紹介 その 40

## 株式会社マーク電子



## 攻めの経営

### 100年企業を目指して

医療機器や計測器を中心とするEMS事業で成長拡大を続ける株式会社マーク電子の村山忠雄会長を相模原市緑区橋本台の本社工場に訪ねました。村山さんは1942年(昭和17年)に東京蒲田に生まれる。太平洋戦争末期には母親の実家があった下関での疎開生活も経験している。その後、神奈川県立希望ヶ丘高校を卒業し、蒲田にあった日本電子工学院でテレビ技術を学び、20才で相模原市上鶴間にあったポータブルラジオやテープレコーダーを製造・販売していたスタンダード工業に入社する。同社は超小型トランジスタラジオや3インチ超小型テレビを開発するなど先進的な企業として広く知られていた。

村山さんは入社当初は生産ラインの管理や不良品の修理などを担当していたが、徐々に労働組合活動に関わるようになり、面倒見の良さと爽やかな弁舌が買われ入社5年目25才の若さで労働組合の専従書記長に選ばれている。しかし、同社はオイルショックの影響で経営危機に陥り、アメリカのスーパースコープ社からの出資を受け、その見返りに、人員整理を要求され、当時2500人いた従業員の3分の1を削減することとなった。人員整理反対、そして、割増退職金の確保へと組合の書記長として東奔西走する日々が続いたという。事態が収束した後、村山さん自身も労働組合の委員長、副委員長達とともに同社を退職している。組合幹部として経営の一翼を担ってきたこと、雇用を守れなかったことの責任を取って辞めたということだろう。

村山さんは早速に就職活動に入るが、ことごとく不採用となる。労働組合の専従書記長経験者を採用するような腹の座った経営者はいなかった。そんなわけで、スタンダード工業の仲間と二人で基板実装の会社を1977年に起業する。相模原市の下溝にあったトランシーバーを製造していた会社の工場と12名の従業員を引き取る形で。創業期は大変で、はんだ付けの装置を購入する資金が無かったので、すき焼き鍋を転用して凌いだし、銀行からの借入れもままならず親兄弟から支援してもらったそうだ。

(2面につづく)

株式会社マーク電子  
代表取締役会長 村山 忠雄  
所在地：神奈川県相模原市緑区橋本台1-32-1  
従業員数：72名 資本金：8,150万円 売上高：13億円  
事業内容：医療機器・関連計測機器及びエンジニアリングシステム等

また、電話帳を頼りに相模原市はもとより座間、大和、海老名、厚木の企業を毎日30件以上、飛び込み営業したという。でも、スタンダード工業には決して営業をしなかったそうだ。村山さんの男としての矜持だったのだろう。そして、スタンダード工業の先輩から取引先を紹介してもらうなどして徐々に顧客も増え、4年目くらいから経営も安定していった。この後、業績の拡大に伴い工場を移転し、下九沢を経て現在の地に本社工場を構えるに至っている。

順調に成長した同社も2008年のリーマンショックでは売上げが30%以上も落ち込み、更に、製造業の海外移転が急速に進む状況下、周囲からは盛んに海外進出を勧められたという。しかし、村山さんはそんな中にあっても、あえて「海外には出ない」「国内で頑張る」と決めたそうだ。そして、日本国内で生産しても見合う付加価値の高い産業分野として医療機器に目を付ける。2009年に医療機器の品質保証のための国際標準規格であるISO13485認証を、更に医療機器製造許可を2010年に取得し、医療機器製造を会社の中核事業とする体制を整えていった。これを契機に日立アロカメディコ、日本シグマックス、日本光電、富士フィルムなど大手メーカーとの取引が始まり、超音波診

断器、AED、十字鞆帯機能検査機器などの医療機器やガイガーカウンターなどの放射線測定機器の開発、設計、製造を一貫して請け負うことになる。

村山さんの座右の銘は「座して死すより、攻めて活路を見出す兵法あり」だそうだ。常に先手必勝なのである。ISO13485も医療機器製造許可も多くの手間と相当のコストが掛かったはずだ。しかし、その事が医療分野進出を実現させている。一昨年には今注目の3Dプリンターも導入している。また、産学連携にも熱心で東京大学、聖マリアンナ医科大学、北里大学との共同研究にも取り組んでいる。更に、昨年12月には医療分野の研究開発体制を充実させるため「R&Dイノベーションセンター」をオープンさせた。攻めの経営はまだまだ続きそうだ。

「攻めの経営の先にこそ100年企業はある」と村山さんはいう。日本は世界で最も長寿企業が多い国である。しかし、地球規模で激しい企業間競争が進むグローバル化した現在、それはそんなに生易しいことではないだろう。100年企業の仲間入りを目指した村山さん、そして、マーク電子の皆さんの挑戦に期待したい。

# 技術と知識とチームワークで挑戦し続ける

## 株式会社トライレイズ

プリント回路基板の設計、製造・実装、関連するコンサルティングを行っている株式会社トライレイズ(代表取締役 柴 義彦氏)をご紹介します。

「先端に行く難易度の高い仕事をもっとやってみたい」という思いから仲間と会社を起こそうと決意。利益になりづらくとも設計者として成長に繋がる仕事で客先や社会に貢献するため“株式会社トライレイズ”を設立。「これは大変だな」と思うような案件でも、自分たちの技術や知識、そしてチームワークで“挑戦”を続けるという信念が社名に込められています。

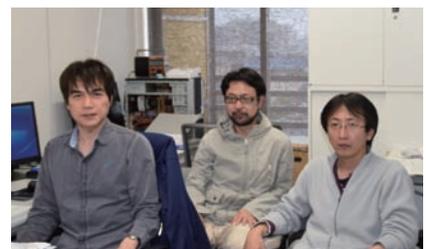
プリント基板のアートワーク設計では一般のプリント基板の他、車載用プリント配線基板設計、モジュール設計、電源基板設計、インピーダンスコントロール設計なども行います。

近年では設計前に回路情報から配線条件を検証し、配線設計完了後に実際の配線パターンによる解析を行う伝送

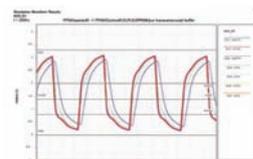
回路シミュレーションが客先から求められるようになっていきます。トライレイズでは、高品質かつ低コストの設計業務をお客様に提供するため、これらのシミュレーション環境を整えています。

また、JAXAが開発している各種衛星や大手半導体メーカーの検査装置に携わるなど、経験豊富な設計者によるきめ細やかでスピーディーな仕事によって、現在の取引先との信頼関係を築くことが出来ています。

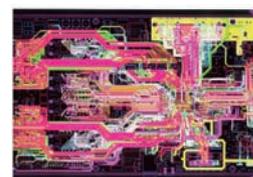
身の回りのありとあらゆるものにプリント基板が組み込まれ、電子回路基板の仕事は世の中に欠かせないものとなっています。それぞれが異なる得意分野を持つメンバーで始めましたが、これからはもっと仲間を増やして、設計業務の環境も充実させ、「トライレイズに任せれば安心!」とより多くのお客様から言っていただける会社を目指しています。柴社長は話されました。



左から 柴 義彦社長 渡邊 義昌氏 河西孝昭氏



Simulation Waveform Results



プリント回路基板

株式会社トライレイズ  
SIC-1 319号室  
Tel : 042-703-0855  
E-mail : shiba@trirays.co.jp

# Hi friends! - Globalization in SIC -

ようこそ!世界の国からSICへ

(第4回)

グローバル化の波は世界中に及んでいます。日本企業にあっても海外進出はもちろんのこと社内公用語を英語にしたり、外国人を採用することも珍しくありません。SICに入居する企業にも外国の方々がたくさん働いています。このコーナーでは6回にわたり「Hi friends! Globalization in SIC」と題し、訪日されSICで活躍する方々を紹介します。

大韓民国  
from Republic of Korea

鄭 柱賢 (JUHYUN CHUNG) チョン チュヒョン  
SuperOx Japan 合同会社

## 鄭さんの歴史を教えてください。

1979年2月、慶北浦項(キョンブクポハン)市で生まれ、1997年にソウルの大学へ入学しました。大学2年の時に義務兵役制による2年2か月間の兵役が課せられたこともあり、大学を卒業したのは2005年。大学では電子工学を学びました。

## 来日(留学)のきっかけは?

軍隊を終えた後復学してから将来のことを悩んでいました。大学の何人かの友人達は、ドイツ、アメリカ、オーストラリア等への留学の準備を進めていましたので、それが刺激になり留学の準備をしました。兵役から戻ってしばらくしてから、日本語に興味を持ち日本語の勉強をしていましたので、日本の文科省の奨学金制度を利用した留学を試みましたが、2006年、東北大学へ私費留学をしました。

## 日本への印象や日本と母国の違いを教えてください。

東野圭吾の「白夜行」を大学の図書館で見つけて読んでことがきっかけで、日本のドラマを良く見るようになり、次第に日本への印象が変わって行き、親しみと同時に日本語への関心を持つようになりました。日本は韓国と良く似ていると思います。実際住んでみるとほとんど同じだと感じています。違うのは、日本は人に対する接し方にとても気を使います。韓国は、歯に衣着せぬ物言いをします。

## 好きな食べ物と趣味は何ですか?

お刺身やお寿司が好きです。韓国では、魚は絞めてすぐに食べるのが美味しいとされています。日本では、絞めた後熟成させているため、より美味しいと感じています。ただ、イカは絞めて直ぐの方が美味しいですね。秋の秋刀魚は美味しいし、高知で食べる鰹のたたきは格段に美味しかったです。韓国では毎日のようにキムチを食べていましたが、日本では、冬に母から送ってきたものを食べるぐらいです。

趣味は弓道です。弓道は名古屋で始めました。年に一度、名古屋で3日間の弓道の研修があって、海外からの参加者も多く他国の弓道家との交流も楽しみにしています。他に、竹細工や三線も練習中です。

## 【SuperOx Japan入社の経緯を教えてください。】

留学先の東北大学で、プラズマCVDの「中性粒子ビームによる成膜」をテーマに研究をしていましたが、そこで(株)ジャパン・アドバンス・ケミカルズ(JAC)の安原さんと出会いました。

博士号まで取得して韓国へ帰るつもりが、修士号取得後に東亜合成(株)へ就職し、安原さんの会社へ出向となって2~3年一緒に仕事をしました。その後名古屋に転勤となりましたが、2年後に退職しました。韓国に帰る準備をしているところ安原さんからSuperOx Japanを紹介してもらいました。超電導と言う新しい分野で、更にロシア人の社長らが働いていると聞いて面白そうな会社だと思い入社することになりました。

## SuperOx Japanではどんな仕事をしていますか

高温超電導線材アーキテクチャの中で、金属基盤と高温超電導体層の間の酸化系バッファ層(膜)の研究開発を担当しています。最近では、採択されたものづくり補助金の事業担当の一人として、低コスト化や高性能化を実現するための線材製造プロセスの開発に積極的に取り組んでいます。

## 将来の夢または目標は

SuperOx Japanは開発力に優れた企業です。将来的には真のグローバルカンパニーを目指しています。自分も開発者の一人としてこれまで培ってきた経験を生かしながら更に磨きをかけ、会社の目標の実現に向けて仕事に取り組んでいきたいと思っています。そのためにまずは、社内のコミュニケーションや渉外で渡り合える英語力を身に付けたいですね。

## 好きな言葉は?

「住めば都」、「valar morghulis(ラテン語:生者必滅)」 世の中に来て去っていくのは当然のこと。1日1日を人との縁を大切に頑張って生きていきたいということです。

SuperOx Japan合同会社

最高経営責任者 セルゲイ・リー

社員: 4名 創業: 2011年 事業: 超電導線材の研究開発

## 寿し徳

久しぶりに「回らない」伝統的なシステムのお寿司屋さんに行ってきました。大将に聞いたら回らないお寿司屋さんは橋本に三軒だけになったそうです。お刺身の盛り合わせを肴に澤乃井のぬる燗でスタート。次は季節の野菜の煮物、サザエのつぼ焼き、あら煮。最後はお寿司の盛り合せ。どれも美味しい。新築移転して三年目なのでお店はとても綺麗です。カウンター5席、テーブルひとつ、小上がりにテーブル2つ、個室にテーブル2つ。ゆっくりとお寿司とお酒を楽しみたい方はどうぞ。夜は気さくな大将が独りでやっています。民家のような店構えなので迷うかも。

相模原市緑区橋本2-25-12 電話 042-772-3041 営業時間 11:00~15:00 / 17:00~21:30 定休日 水曜日



南西フォーラム  
34th FORUM

## 日本のモノづくりが 支える鉄道産業

～いざ、グローバル市場へ！～

### 第34回南西フォーラム

日本のモノづくりが支える鉄道産業～いざ、グローバル市場へ！～

#### 【第一部】

1. 株式会社アイスリー 代表取締役 石井 正一氏  
「カラクリ技術のファブレスメーカー  
ー建築用ドア装置開発メーカーから鉄道産業へー」
2. 有限会社光製作所 代表取締役 丸山 裕司氏  
「高いプレス加工技術で鉄道業界へ！ー進化型モノづくり企業の挑戦ー」
3. 株式会社MEMOテクノス 代表取締役 渡邊 将文氏  
「お客様の『したい』を『カタチ』にするモノづくり  
ー公共交通機関向け自動放送システムで鉄道業界を席巻ー」

#### 【第二部】

株式会社日立製作所 交通システム社  
笠戸事業所 副事業所長 荒川 賢一氏  
「日立が進める鉄道車両の生産改革とグローバル化  
ー今までとこれからー」

開催日時：平成28年2月10日(水)  
16時00分～20時00分(受付15:30～)

会場：サン・エールさがみはら ホール

定員：150名 参加費：無料

お申し込み：SIC-1 担当 磯田まで

### 2016.1 SIC EVENT CALENDER イベントカレンダー

1月15日(金)、1月29日(金)、2月19日(金)・26日(金)、3月4日(金)の全5回

自動化・省人化支援セミナー(1月期)

1月19日(火) SICミニセミナーNo.27【デザイン】編

2月8日(月)・9日(火)第3期ロボット操作教育(基礎コース) 受付を終了しています

2月10日(水) 第34回南西フォーラム

3月17日(木) SICミニセミナーNo.28【法務】編

3月17日(木)・18日(金) 第4期ロボット操作教育(基礎コース)

knock! knock!  
入居企業を募集してます。

#### SIC空室情報 (2016年1月5日 現在)

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費・消費税別)
SIC-1 スモールオフィスB (17.3㎡) ※	2	47,600円
SIC-2 空室はありません	-	-
SIC-3 空室はありません	-	-

※1部屋2月、1部屋3月よりご入居いただけます



## The HINT27 SICミニセミナー

「事例から学ぶ!心に訴えるデザイン活用法」  
～現在の会社案内やパンフレットに手応えを感じていますか?～

講師:グラフィックデザイン

こざ企画 代表 小崎 直利氏

開催日時:平成28年1月19日(火)17:30-19:00

※終了後希望者に個別相談会を実施(19:00～)

会場:さがみはら産業創造センターSIC-2会議室

参加費:無料 お申し込み:SIC-1担当 五島まで

次回予告:平成28年3月17日(木) SICミニセミナー【法務】編



さがみはらロボット導入支援センター及びロボットセミナーのご案内

#### (1)ロボットシステム展示

センター内に設置されているロボットの実演や導入事例を実際に見ていただくことにより、ロボット導入の効果と自動化のメリットを理解していただけます。

#### (2)自動化コンサルティング

産業ロボットによる自動化設備の導入を実際にお考えの企業様には、導入に向けたコンサルティングを行ないます。ヒアリングや工場視察を行ない、最適なロボットシステムあるいは治具・自動機の導入や最適な生産システムを支援します。

#### (3)ロボットセミナー

##### ◆自動化・省人化支援セミナー

1月期コースは、平成28年1月15日(金)、1月29日(金)、2月19日(金)・26日(金)、3月4日(金)の全5回で開催します。

##### ◆ロボット操作教育(基礎コース)

第3期(平成28年2月8日(月)・9日(火)の2日間)は、募集定員に達しましたので受付を終了しました。第4期については3月17日(木)・18日(金)の2日間を予定しています。現在受講者を募集中ですので詳細はホームページをご覧ください。

お問い合わせ先:担当 統括コーディネーター 宮川

E-mail: robot-center@sic-sagamihara.jp

詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp>

#### 編集後記

今年は60年ぶりの「丙申(ひのえ・さる)」年。「形が明らかになって、実が固まってくる」年だそうです。積極的な努力が形になって行く経過の年とも言えるでしょうか。新しい年が皆様方にとって「希望に満ちた年」になりますよう心より祈念申し上げます。本年もSICをよろしく願っています。

謹賀新年



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)  
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077  
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を  
お待ちしております。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>